

紹介受診重点医療機関の選定に係る意向調査票

1 対象医療機関について

医療機関名	一般財団法人宮城県成人病予防協会附属仙台循環器病センター
協議対象とした理由	既に紹介受診重点医療機関として公表されており、 令和7年度外来機能報告において基準を満たさず、意向がある

2 対象医療機関から報告があった内容をまとめたもの

(1) 基準を満たさなかった理由

初診における医療資源を重点的に活用する外来（重点外来）の割合が令和3年度41.1%→令和4年度35.8%→令和5年度35.6%→令和6年度35.6%となっておりますが、冠動脈CT、心臓MRIなど高額の医療機器を使用した外来診療は前年度の水準を維持しているのですが、これらの画像診断は予約制であることや、事前説明等の準備があることから診察日とは別日の検査となってしまう、重点外来の件数にカウントされないケースが多いため、データ上、重点外来の割合を満たせませんでした。

(2) 紹介受診重点医療機関を継続することによる自院への影響

循環器疾患専門病院として今後も地域で診療を継続する方針ですが、医師の働き方改革もあり、診療の比重を地域でのニーズが高い救急、入院医療に集中させる必要があると引き続き考えています。紹介受診重点医療機関として継続していくことで慢性期はかかりつけの先生方に治療をお願いし、状態悪化時や専門的な精査が必要な際は当院へという地域の医療の役割分担が明確となり、患者への説明の負担も軽減し結果的に医師のリソースを有効に活用することにつながり、患者さんに最適な医療を提供できると考えられます。

(3) 紹介受診重点医療機関を継続することによる地域への影響

メリットとしましては、当院が紹介受診重点医療機関を継続して地域での役割分担を明確化することで、慢性期はかかりつけ医を、増悪時等は当院を利用するという使い分けを患者さんに受入れていただくことが容易になることが期待されます。当院が紹介受診重点医療機関を継続することで地域の他の医療機関の負担が増えることはなく、特にデメリットはないものと思われれます。

(4) 今後の基準達成の見込み

CT、MRI等については地域の先生方に利用してもらえるよう積極的に昨年に引き続き広報活動を継続しており、令和6年度はCTが5,000件、MRIは380件をそれぞれ超える実績を上げています。また、救急車の受け入れを強化しており、これに応じてCTの実施件数も増加しており、今年度は令和6年度に比べ救急車は1.3倍、CTは1.2倍の件数になっております。ただし、上記の通り200床未満である当院は、選定療養費徴収による紹介受診への誘導ができない点をご勘案いただき、努力目標として継続的な取り組みを行っていくことでご理解を賜りたい意向です。

(5) 次年度以降における意向継続の予定

循環器内科、心臓血管外科の医師のリソースには限りがあります。働き方改革も見据え、診療の比重を専門的な初診、救急診療、入院診療に集中させる必要があります。よって、調整会議のご理解がいただけましたら当院としては昨年に引き続き紹介受診重点医療機関の役割を地域で担わせていただければと考えております。